

■英国：2016年上半期のスイッチング件数が前年同時期と比較して30%増加

英国ガス・電力市場局（OFGEM）は2016年9月6日、2016年1月～6月における家庭用需要家のスイッチング件数が約380万件（ガス：約164万件、電気：約216万件）に上り（同一需要家による複数回のスイッチングも計上した延べ件数）、前年同時期の件数と比較して30%の増加率となったことを発表した。しかし、同局によれば、全家庭用需要家の66%が未だ割高な変動料金契約に置かれているとしており、需要家保護の観点から、競争・市場局（CMA）が提案した市場改革案（プリペイメント・メーター契約における料金規制や、“料金メニュー数制限”のライセンス規定からの抹消）を今後実施していく意向を示している。なお、変動料金（SVT：standard variable tariff）とは、契約中いつでも違約金なしで解約できる他、日課金も事業者の裁量でゼロとすることができる一方、燃料費等が従量料金単価に随時転嫁される契約である。2016年7月28日時点の大手エネルギー事業6社の年間平均SVTは1,066ポンド（約14万4,000円）である。一方、小売市場全体での最安料金プランは、一年固定契約で758ポンド（約10万2,000円）であった。